

## 【病床機能報告データの集計・分析について】

全国の病院について、病床機能報告データ（2017年7月版）により下記の分析を行いました。尚、今回の分析は全国で行っていますが、地方、都道府県、2次医療圏 単位に行うことも可能です。

分析内容：

病院を DPC 指定病院（“D”）と DPC 指定でない病院（“N”）及び大中小病院の6区分（“D大”、“D中”、“D小”、“N大”、“N中”、“N小”）に分けて、各々の病床機能別・病床種別 病床数を算出し、どの病院区分が何を担っているのかの実態を明らかにします。

尚、病院の大中小は、病床数が400床以上を大病院、200床以上400床未満を中病院、200床未満を小病院としています。

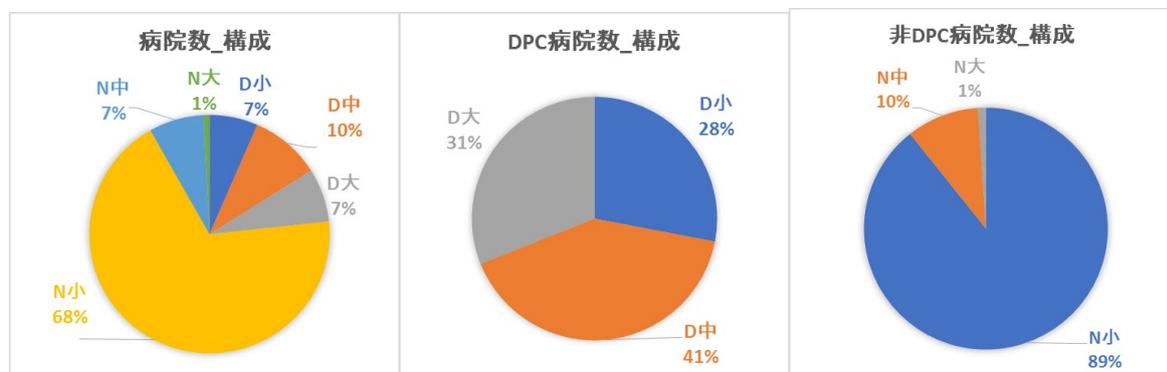
		全国						
		D			N			
		D小	D中	D大	N小	N中	N大	計
	病床数 稼働	62,292	192,677	288,663	435,439	133,385	26,514	1,138,970
	病院数	469	685	520	4,924	531	58	7,187
	病床数 許可	63,961	196,991	293,734	449,127	136,544	28,191	1,168,548
1	病床数 一般許可	1,871	17,390	141,541	1,534	412	20	162,768
2	病床数 一般稼働	1,822	17,053	139,973	1,471	390	20	160,729
3	病床数 療養許可 医療	0	0	0	0	0	0	
4	病床数 療養許可 介護	0	0	0	0	0	0	
5	病床数 療養稼働 医療	0	0	0	0	0	0	
6	病床数 療養稼働 介護	0	0	0	0	0	0	
7	1日平均入院患者数	1,409	13,457	115,156	1,084	255	15	131,376
8	病床数 一般許可	45,375	146,135	140,350	161,593	35,132	3,873	532,458
9	病床数 一般稼働	44,123	143,102	137,153	154,809	33,901	3,523	516,611
10	病床数 療養許可 医療	0	0	0	140	60	0	
11	病床数 療養許可 介護	0	0	0	0	0	0	
12	病床数 療養稼働 医療	0	0	0	134	60	0	
13	病床数 療養稼働 介護	0	0	0	0	0	0	
14	1日平均入院患者数	34,410	113,959	113,123	116,128	26,000	2,634	406,253
15	病床数 一般許可	7,966	18,724	6,440	37,995	11,038	1,099	83,262
16	病床数 一般稼働	7,684	18,203	6,216	36,839	10,691	1,019	80,652
17	病床数 療養許可 医療	2,537	3,867	881	33,733	12,596	1,692	55,306
18	病床数 療養許可 介護	4	0	0	163	5	0	
19	病床数 療養稼働 医療	2,522	3,813	881	33,125	12,357	1,692	54,390
20	病床数 療養稼働 介護	4	0	0	163	5	0	
21	稼働病床数 計	10,210	22,016	7,097	70,127	23,053	2,711	135,042
22	1日平均入院患者数	8,291	17,989	5,569	58,744	19,411	2,106	112,109
23	病床数 一般許可	2,040	4,998	2,498	42,952	19,302	7,592	79,382
24	病床数 一般稼働	2,031	4,783	2,435	41,153	18,704	6,489	75,595
25	病床数 療養許可 医療	3,856	5,166	1,894	141,783	47,736	9,450	209,885
26	病床数 療養許可 介護	312	711	130	29,374	10,323	4,465	45,315
27	病床数 療養稼働 医療	3,800	5,019	1,875	138,918	47,047	9,306	205,965
28	病床数 療養稼働 介護	306	704	130	28,961	10,290	4,465	44,856
29	稼働病床数 計	6,137	10,506	4,440	209,032	76,041	20,260	326,416
30	1日平均入院患者数	5,390	9,139	3,757	182,958	68,554	18,543	288,341

集計結果：表より下記が読み取れる

- ① 高度急性期を担うのは 主に DPC 指定の大病院
- ② 急性期を担うのは DPC 指定の大病院、中病院 及び DPC 指定でない小病院
- ③ DPC 指定の病院は 高度急性期、急性期を主に担っており、回復期、慢性期は少ない
- ④ 回復期及び慢性期を担うのは 主に DPC 指定でない小病院
- ⑤ 高度急性期、急性期は 一般病床を利用しており、療養病床を利用することは無い
- ⑥ 大病院の 90%が DPC 指定病院となっている
- ⑦ 回復期には 療養\_介護 の病床は無い
- ⑧ 慢性期は 療養\_介護 の病床が有る

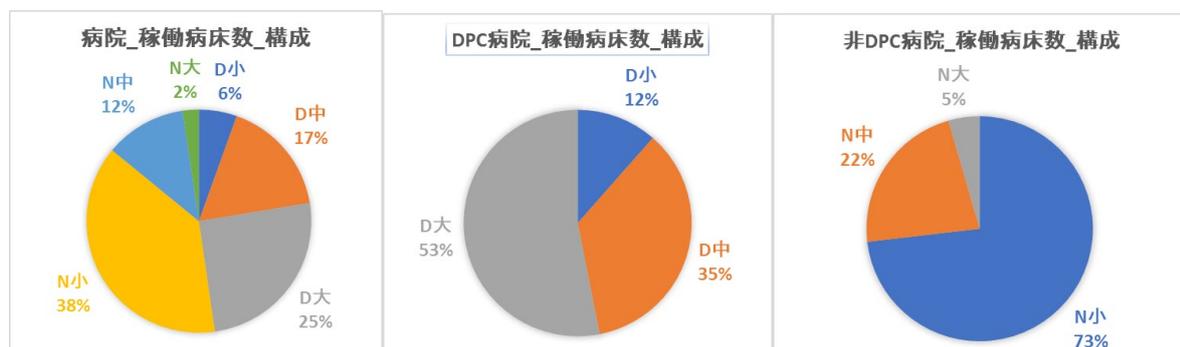
分析結果：表をグラフ化することにより下記が読み取れる

<グラフ グループ 1> 病床数



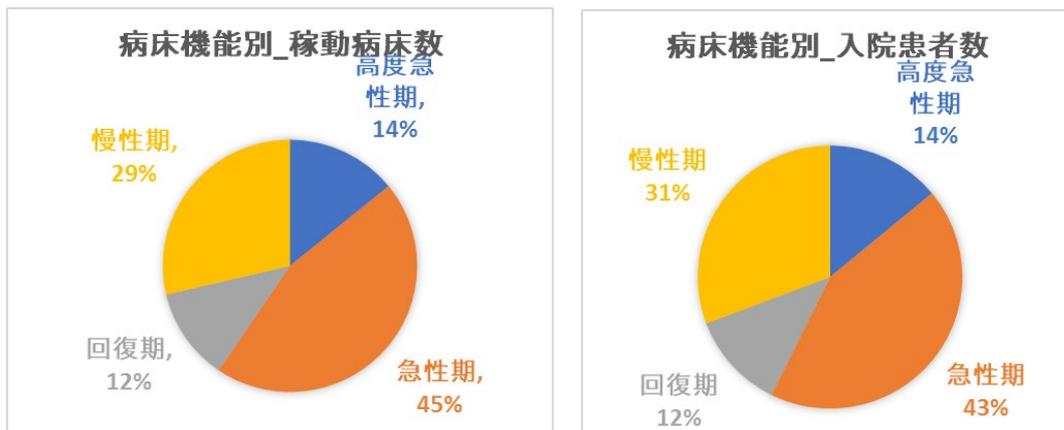
- ① 病院数で見ると、DPC 指定でない小病院が 68%と大部分を占める
- ② DPC 指定病院数は、大病院が 31%、中病院が 42%、小病院が 28% とほぼ均等
- ③ DPC 指定でない病院数の 89%を小病院が占める

<グラフ グループ 2> 稼働病床数



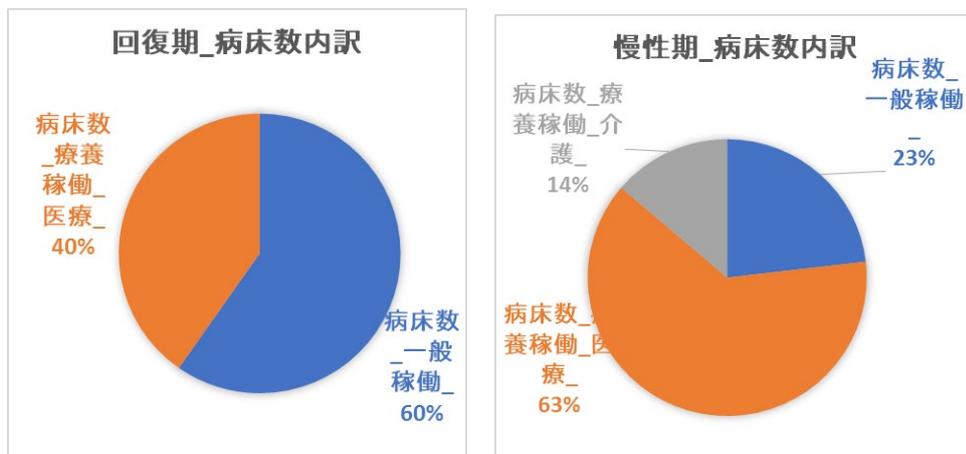
- ① 病院の稼働病床数で見ると、DPC 指定大病院が 25%、DPC 指定中病院が 17%、DPC 指定でない小病院が 38%で、合わせて 80%を占める
- ② 病院の稼働病床数の 48%が DPC 指定病院、52%が DPC 指定出ない病院と、ほぼ同数
- ③ DPC 指定病院の稼働病床数は、大病院が 53%、中病院が 35%を占める
- ④ DPC 指定出ない病院の稼働病床数は、小病院が 73%と大部分を占める

<グラフ グループ 3> 病床機能別 病用数、入院患者数



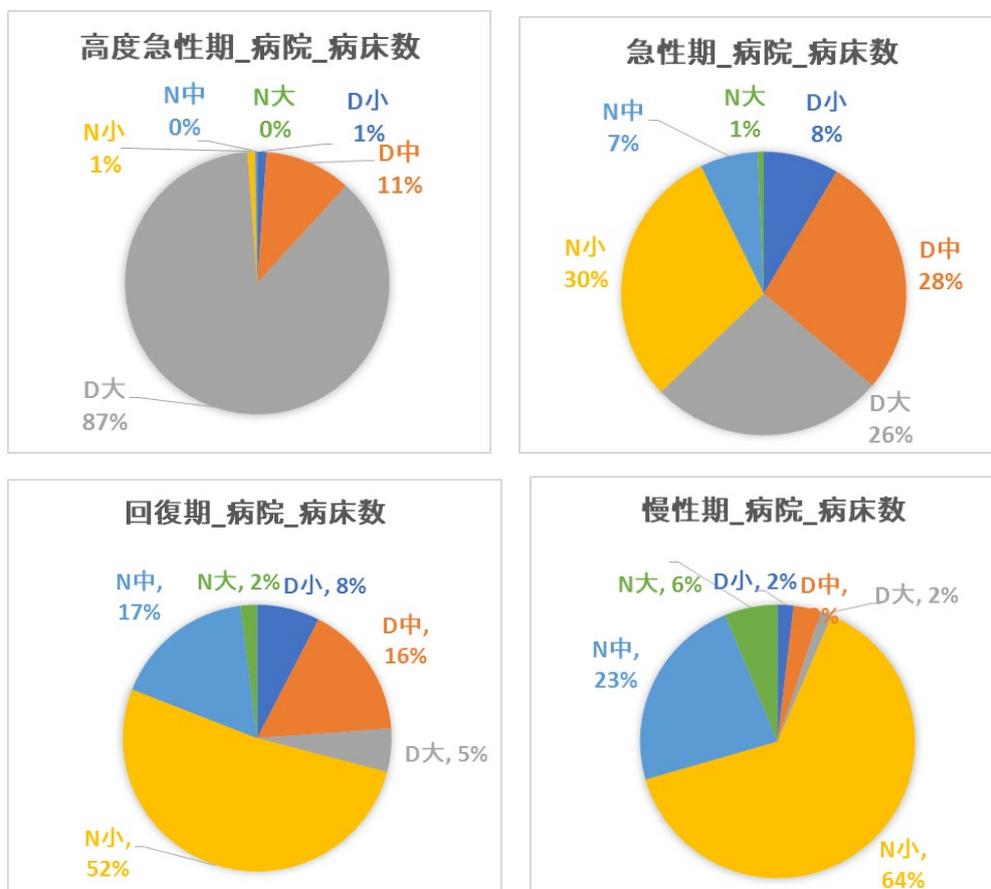
- ① 病床機能別 稼働病床数で見ると、高度急性期 14%、急性期 45%、回復期 12%、慢性期 29%と、急性期が最も多い
- ② 稼働病床数と入院患者数は、ほぼ同じ割合

<グラフ グループ 4> 回復期と慢性期の病床種別



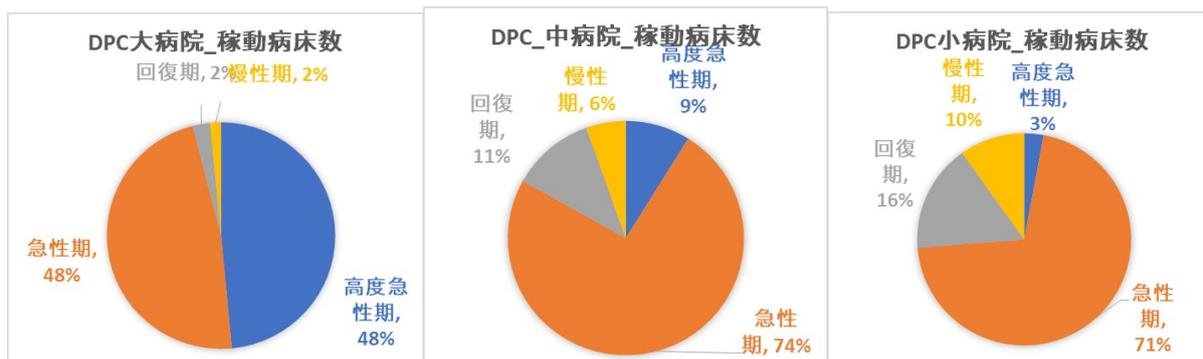
- ① 回復期の稼働病床は、一般病床が 60%、医療療養病床が 40%
- ② 慢性期の稼働病床は、一般病床が 23%、医療療養病床が 63%、介護療養病床が 14%

<グラフ グループ 5> 病床機能別 病院構成



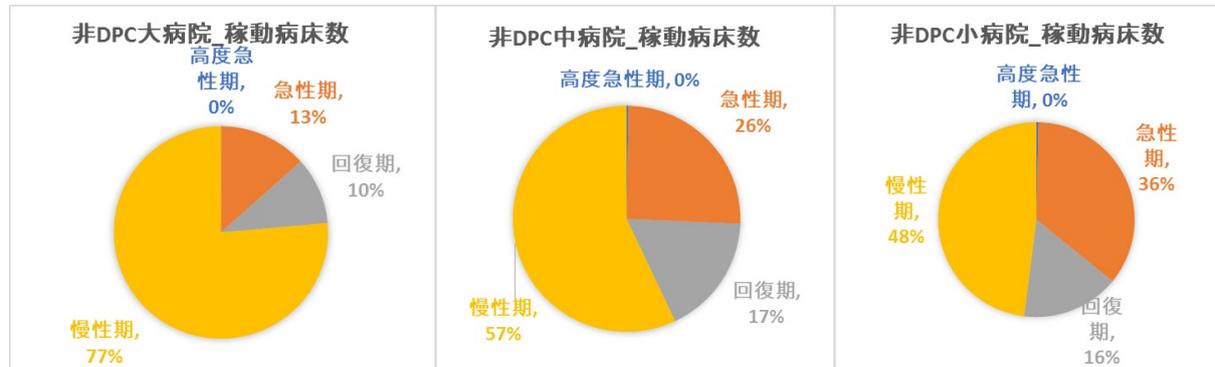
- ① 高度急性期の稼働病床数（一般）は、DPC 指定大病院が 87%と大部分を占め、DPC 中病院が 11%と合わせると 99%となる
- ② 急性期の稼働病床数（一般）は、DPC 指定大病院 26%、DPC 指定中病院 28%、DPC 指定でない小病院 30%、合計 84%で大部分を占める
- ③ 回復期の稼働病床数（一般&療養）は、DPC 指定でない小病院が 52%と主に担っている
- ④ 慢性期の稼働病床数（一般&療養）は、DPC 指定でない小病院が 64%と主に担っている

<グラフ グループ 6> DPC 指定病院の病床機能別病床数



- ① DPC 指定大病院の稼働病床数は、高度急性期が 48%と急性期が 48%で大部分を占める
- ② DPC 指定中病院の稼働病床数は、急性期 74%が大部分を占める
- ③ DPC 指定小病院の稼働病床数は、急性期 71%が大部分を占める

<グラフ グループ 7> DPC でない病院の病床機能別病床数



- ① DPC 指定でない大病院の稼働病床数は、主に慢性期で 77%を占め、急性期 13%、回復期 10%と続く
- ② DPC 指定でない中病院の稼働病床数は、慢性期が 57%と最も多く、急性期 28%、回復期 17%と続く
- ③ DPC 指定でない小病院の稼働病床数は、慢性期が 48%と最も多く、急性期 36%、回復期 16%と続く

データを集計することにより、その病院の特色が明らかになっていきます。

どのような病院を求むのか、その病院はどこに力を入れているのかを判断して、運営や事業に繋げていきましょう。